

科目名	歴史Ⅰ History I			担当教員	與田 純		
学 年	1年	学 期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分 野	一般	授業形式	講義	科目番号	12120003	単位区分	履修単位
学習目標	世界の歴史の大きな枠組みと流れを、我が国の歴史と関連づけながら理解させ、文化の多様性と現代世界の特質及び人類の課題を広い視野から多角的に考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。また、学習教育目標である「粘り強く取り組む姿勢」等の学習態度を、授業を通して培っていく。						
進め方	基本的に講義形式で進めるが、「ノートを取って、暗記する」だけの受動的な学習方法では試験に対応することはできない。学生諸君には、授業への積極的な参加を要求する。また、史料や絵画など多様な文献を読み解くことを通じて思考力を養い、音楽・映像教材などを用いて授業の理解を深めてもらう。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. ローマ帝国の興亡（15） (1) 都市国家ローマの誕生 (2) 共和政時代 (3) 帝政時代 (4) ローマ帝国の滅亡とその影響			ローマ帝国の歴史の概要と、共和政から前期帝政を経て後期帝政への政治体制の変化の原因・特徴を理解する。ローマ帝国がその後の世界に及ぼした影響について理解できている。 学習・教育目標：(A)			
	[前期中間試験] (2)						
	2. 北米の植民地化と合衆国の独立(15) (1) 英・仏・蘭の海外進出 (2) 大西洋三角貿易 (3) 13植民地の形成 (4) アメリカ独立革命			アメリカ合衆国の原点である 13 植民地の形成過程を理解している。大西洋三角貿易の成立背景とその後の影響を説明できる。アメリカの独立の国内史的・世界史的な意義を説明できる。 学習・教育目標：(A)			
	前期末試験						
	3. フランス革命(15) (1) 旧体制とその危機 (2) 革命の展開 (3) ナポレオン帝国の成立 (4) 帝国の瓦解とウィーン体制の成立			フランス革命の概要と、王政から共和政を経て帝政への政治体制の変化の原因・特徴を理解する。フランスがその後の世界に及ぼした影響について理解できている。 学習・教育目標：(A)			
	[後期中間試験] (2)						
	4. アメリカの人種問題(15) (1) 西部開拓 (2) 南北戦争 (3) 南部の人種隔離政策 (4) 公民権運動			アメリカ合衆国の歴史の概要を把握するとともに、白人と先住民、黒人との人種問題の根源を理解する。特にアメリカの建国理念と現実の矛盾点、その克服の過程を説明できる。 学習・教育目標：(A)			
後期末試験 試験返却(1)							
評価方法	・評価の内訳は、発表点と小テスト等を10%程度、定期試験結果を90%程度とする。 ・学習項目ごとの全体評価への重みは、1.～4.のそれぞれについて25%、25%、25%、25%とする。						
履修要件	特になし						
関連科目	歴史Ⅰ（1年） → 歴史Ⅱ（2年） → 人文科学Ⅲ（4年）						
教 材	教科書：北村正義編『新編 世界の歴史』（学術図書出版）資料集：『世界史タペストリー』（帝国書院）ワークノート：『世界史トレーニングノート』（山川出版）。その他、参考図書を随時紹介する。						
備 考	・年度内追認試験は年度末に実施する（前期範囲と後期範囲を1回ずつ）。4回の定期試験の平均点が30点未満の者は受験できない。 ・単位追認試験は次年度の9月（前期範囲）と1月（後期範囲）に実施する。						